

多焦点ファンビームコリメータを用いた心筋血流 SPECT の評価

●はじめに

心筋血流 SPECT 検査は、狭心性や心筋梗塞を評価する検査として広く臨床に用いられています。特に治療方法の決定や予後評価に重要かつ不可欠な検査です。しかし、撮影に長時間を要するため、体の動きなどにより正確な診断を得られない場合があります。近年、多焦点ファンビームコリメータという新しい技術が開発され、短時間撮影が可能になってきました。われわれは患者さんの負担を軽減し、心筋血流 SPECT 検査をより信頼性の高い検査にするため、この新しい技術の正確性を評価しようと考えています。

●対象

本研究は 2011 年 5 月 1 日から 2013 年 7 月 5 日までの間に倉敷中央病院にて心筋血流 SPECT 検査を実施された方 60 名を対象とさせていただきます。対象となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡ください。

●研究内容

すでに実施された心筋血流 SPECT 検査のデータを用いて解析を行います。異なる機械で得られた結果を比較し、新しい方法の正確性を評価したいと考えています。この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な費用は発生しません。

●個人情報の管理について

本研究では個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。対象者となることを希望されない方および個人情報の開示を請求される方は、下記連絡先までご連絡下さい。なお、別の研究に用いる場合は改めて倫理審査委員会において審査と承認を受けます。

●研究期間

研究を行う期間は 2016 年 3 月 31 日までです。

●医学上の貢献

この研究により画像の違いを明確にすることができれば、より正確な診断を患者さんに提供できるようになると考えています。また、この結果を発展させることで、どの施設でも同じ品質の検査が可能になり、ひいては患者さんの御負担を少なくすることにつながると考えています。

【研究機関】

九州大学医学研究院保健学部門	・教授	・佐々木雅之
医学系学府保健学専攻	・大学院生	・松友紀和（倉敷中央病院・診療放射線技師）
倉敷中央病院 放射線科	・部長	・石守崇好（医師）
倉敷中央病院 放射線センター	・診療放射線技師長	・熊代正行（診療放射線技師）
倉敷中央病院 放射線センター	・RI,PET/CT 検査室室長	・長木昭男（診療放射線技師）

連絡先：

九州大学医学研究院保健学部門 佐々木雅之
〒812-8582 福岡市東区馬出 3 丁目 1-1
TEL (092) 642-6746
E-mail: msasaki@hs.med.kyushu-u.ac.jp